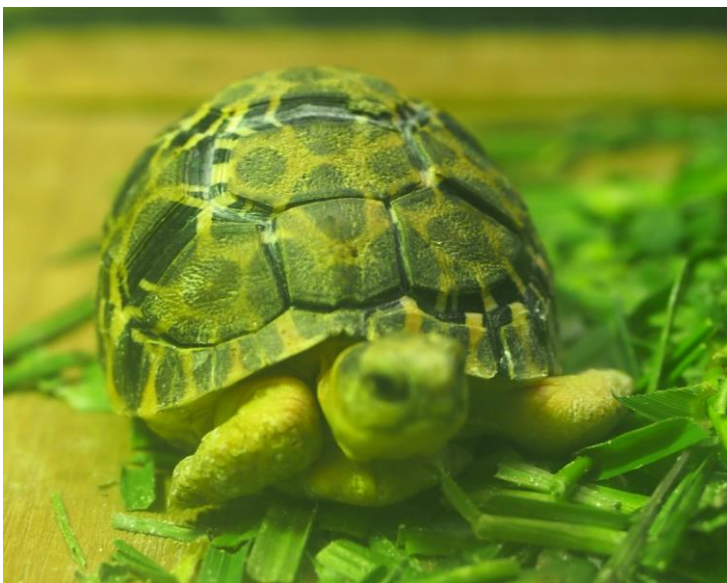


Q. リクガメの<sup>あか</sup>赤ちゃんが<sup>ちい</sup>小さくてかわいいです  
ね！！<sup>せいちょう</sup>成長につれて<sup>からだじたい</sup>やわらかい体<sup>おお</sup>自体が大  
きくなるのはわかりますが、<sup>ちい</sup>小さい<sup>はんきゅうたい</sup>半球体とし  
て<sup>いちど</sup>一度か<sup>こうら</sup>たまってしまう<sup>おお</sup>ているコウラが<sup>おお</sup>大き  
くなるのが<sup>りかい</sup>理解できません。どうい  
うことでしょうか？

A. リクガメの<sup>こうら</sup>甲羅は<sup>はんきゅうたい</sup>半球体として<sup>かた</sup>固まっ  
てい<sup>わけ</sup>る訳では<sup>ありません</sup>。リクガメの<sup>こうら</sup>甲羅が<sup>せいちょう</sup>成長す  
る<sup>しく</sup>仕組みは、<sup>ひょうめん</sup>表面に<sup>み</sup>見えている<sup>みぞ</sup>溝で<sup>くぎ</sup>区切られた  
<sup>こうら</sup>甲羅の<sup>いちまいいちまい</sup>一枚一枚が<sup>せいちょう</sup>成長して<sup>おお</sup>大きくなっ  
ていま



す。そのため、<sup>せいちょう</sup>成長と  
ともに<sup>ちい</sup>小さくなった  
<sup>こうばん</sup>甲板が<sup>は</sup>剥がれ、<sup>ねんりん</sup>年輪の  
ように<sup>もよう</sup>模様が<sup>きざ</sup>刻まれ  
ていきます。